

特定保守管理医療機器「生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ」の構成品

PiCCO 温度インターフェイスケーブル TypeV

PiCCO 注入温度センサケーブル TypeV

PiCCO YタイプIBPケーブル TypeV

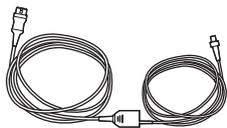
【禁忌・禁止】

＜併用医療機器＞「相互作用の項参照」

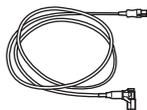
- ・磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）を併用しないでください。[MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 構成



PiCCO 温度インターフェイスケーブル TypeV



PiCCO 注入温度センサケーブル TypeV



PiCCO YタイプIBPケーブル Type V

適用機器

適用機器	医療機器認証番号
生体情報モニタ Accumil V7000シリーズ	22600BZX00092000
生体情報モニタ Accumil V6000シリーズ	22600BZX00264000
生体情報モニタ Accumil V5000シリーズ	22600BZX00097000

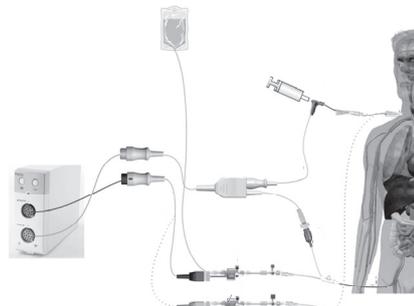
【使用目的又は効果】

生体情報モニタに接続し、PiCCOシステムで測定した心拍出量を連続モニタリングするために使用します。

【使用方法等】

＜使用方法＞

1. PiCCO 温度インターフェイスケーブルをPiCCOモジュール VMOD-PiCCO（販売名：生体情報モニタ Accumil V7000シリーズの構成品）のCCO/C.O.コネクタに差し込みます。
2. PiCCO 注入温度センサケーブルをPiCCO 温度インターフェイスケーブルに接続します。
3. 熱希釈カテーテル（販売名：PiCCOカテーテルキットⅡ）をPiCCO 温度インターフェイスケーブルに接続します。詳細は、熱希釈カテーテルの添付文書を参照してください。
4. IBPケーブルをPiCCOモジュールのpArt/pCVPコネクタに差し込みます。
5. 動脈圧測定時はトランスデューサ（販売名：PCCOモニタリングキットⅡ）を、pArtと表示されているIBPケーブルに接続します。
6. 中心静脈圧（CVP）測定時はトランスデューサを、pCVPと表示されているIBPケーブルに接続します。CVP測定を実施しない場合は、この手順をスキップしてください。



＜組み合わせて使用する医療機器＞

PiCCO 温度インターフェイスケーブル TypeVと接続できる医療機器

販売名	製造販売業者	医療機器認証番号
PiCCOカテーテルキットⅡ	ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社	228ADBZX00035000

PiCCO 温度インターフェイスケーブル TypeV / PiCCO YタイプIBPケーブル TypeVと接続できる医療機器

販売名	製造販売業者	医療機器認証番号
PCCOモニタリングキットⅡ	ゲティンゲグループ・ジャパン株式会社	227ADBZX00169000

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・使用中は、適用部位に他の導電性のアクセサリが接触しないようにしてください。
- ・電気手術器（ESU）を併用する場合は、電気手術器と本機のケーブルおよびトランスデューサが接触しないように配置してください。[患者に火傷の恐れがあります。]
- ・使用前に心拍出量が正常に測定できることを確認してください。
- ・注入液は24℃未満で使用してください。注入液の温度が高いと測定が不正確になる原因となります。
- ・PCCOモニタリングキットⅡ構成品のインジェクション温度センサハウジングを取り外す際は、PiCCO注入温度センサケーブルのケーブルではなく変換コネクタを掴んでください。
- ・指定の機器以外、接続しないでください。[本来の性能や機能が損なわれ、重大な事故を引き起こす可能性があります。]
- ・長期にわたって測定する場合、ケーブルなどが押さえつけられ、患者を圧迫していないことを適宜確認してください。[血流を阻害し、圧迫壊死を生じることがあります。]
- ・ケーブル類の配線に注意してください。[患者に絡みついたり、締め付けたりする危険性があります。]
- ・頻繁な消毒は劣化が進むため、消毒後はひびや変形などがないことを確認してください。
- ・消毒時は、ケーブルなどを消毒剤に浸したり、コネクタ部を濡らしたりしないでください。
- ・ケーブル洗浄時に、コネクタ端子を曲げないでください。
- ・50℃を超える温度で洗浄しないでください。
- ・ケーブルを滅菌しないでください。

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。

<相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）>

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）	MRI装置と併用しないでください。	MRI装置への吸着、故障、破損、火傷等が起こる恐れがあります。

【保管方法及び有効期間等】

50℃を超える場所で保管しないでください。

<使用期間>

ひびや変形などの劣化、またはセンサを認識できないなどの症状が発生した場合は新しいアクセサリに交換ください。

【保守・点検に係る事項】

<使用者による保守点検事項>

生体情報モニタ本体の取扱説明書に従い、使用前の日常点検および洗浄または消毒を実施してください。必要に応じて、洗浄または消毒を実施してください。

洗浄

1. 水で湿らせた綿布または柔らかい布で洗浄します。
2. 洗浄後、柔らかい布で水分を拭き取り、空気乾燥させてください。

消毒

推奨される消毒剤：エタノール70%、イソプロパノール 70%

1. 上記の方法で洗浄後、推奨された消毒剤を使用し、綿布または柔らかい布で拭いてください。
2. 消毒後は必ず水で湿らせた柔らかい布で残留した消毒剤を拭き取り、空気乾燥させてください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：フクダ電子株式会社

外国製造業者：Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Co., Ltd. (中国)
シンセン マインドレー バイオメディカル
エレクトロニクスカンパニーリミテッド



046-011606-00(1.0)

接続する機器の取扱説明書を必ずご参照ください。

4L0115930